



インスピレーションになる



例会日 ■平成 30 年 8 月 30 日(木) 会場 ■割烹八文字屋 開会点鐘 ■12:30 2018-19 年度 VOL 08

三春 RC テーマ:「、繋げようロータリー、繋がろうロータリー」

— 50年続いたロータリーが100年続きますように —

Contents: 会員増強・拡大プログラム

【例会】 司会:三條安國 SAA	5.幹事報告
1.開会点鐘	6.各委員会報告
2.ロータリーソング「奉仕の理想」	7.会員増強・拡大プログラム
3.四つのテストの唱和	8.閉会点鐘
4.会長挨拶	

会長挨拶 (第49代会長 石川和広)



皆さん今日はお忙しい月末のお昼お集まりいただき有難うございます。私の会長生活も2か

月になりましたが登山でいえば2合目か3合目あたりでしょうか。皆様とともにどんどん登っていかねばなりませんのでご協力よろしくをお願いします。登って行くためには体力と足場が必要です。体力維持のためには生活習慣病の予防とくに肥満解消が大事です。特に内臓脂肪が問題です。先日医師会の勉強会で南東北病院の外科の菅野先生の糖尿病治療での内臓脂肪の重要性についての講演がこの八文字屋でありましたが結構衝撃的でした。

簡単にまとめると糖尿病というとHbA1cが6,0以上厳密には5,6以上だからそれ以下にしなければ突然死するリスクが高くなるといわれていますが自分の外科医の経験からすると全く意味がない。突然死の最大の原因は冠状動脈という心臓の栄養血管に脂肪が貯まるためだそうで5,6以下の人で突然死する人はたくさんいるとの事でした。日本人の男性は特に肥満すると内臓に貯まりやすいので肥満解消が一番の予防です。BMIで25以下にしましょう。3,3,3運動というのがあります。ウェスト3cm体重3kg総体重3%減らす運動です。体力維持を図ったところで次は足場固めです。本日は会員増強委員会の橋本国春委員長指導で足場固めの第一として会員増強について考えたいと思います。先週

の例会で渡辺東邦銀行支店長の友の見どころでも紹介がありました。8月号の記事の中に会員増強10か条が効果的だというのがありました。読んでいらっしゃる方も多いかと思いますが、紹介してみます。

- 1) クラブの長所を全てリストにする。
- 2) 入会候補者のリストを管理する。
- 3) クラブの強みを知る。
- 4) 会員増強をクラブの最優先事項にする。

- 5) 行く先々でロータリーについて話す。
- 6) 会員の責任をリストにする。
- 7) ゴールはないことを認識する。
- 8) 入会式をお祝いする。
- 9) 粘り強く

10) 精力的に

だそうです。入会促進と会員維持のために本日はいろいろとご意見を伺いたいと思います。よろしくお願いします。



幹事報告

◇白岩 良子(第49代)

1. 公共イメージ・IT チーム合同セミナー 9/1 (土)
2. 奉仕プロジェクトグループ合同セミナー 9/2 (日)
3. 青少年奉仕委員会セミナー 9/15 (土)
4. 地区大会 11/24 (土) 地区大会記念ゴルフコンペ 10/19 (金)
5. 県中分区合同例会 9/26 (水) 本宮クラブ担当 アサヒビール園
6. 猪苗代湖水草取り作業 10/7 (日)

※ 9月6日(木)の例会は今年度初めての同伴例会で、会場は若松屋です。

楽しいゲームがありますので、奥様と一緒に沢山のご参加をお待ちしています。

各委員会報告

◇影山吉則研修委員会委員長

8月18日(土)、郡山市のビッグバレットにおきまして、今年度、第一回目となるクラブ研修リーダー会議が開かれました。

会議には平井ガバナー、阿久津パストガバナー、酒井パストガバナーを初め地区役員・研修委員の12名と60クラブが出席しました。

冒頭、平井ガバナー、阿久津・酒井両パストガバナーからはロータリークラブ会員が近年減少傾向にあることや、若い会員の増強は急務であるといった話がありました。



又、会議では入会2～3年の会員を対象に、ロータリークラブについてより理解を深めるための各クラブでの取り組みについてその必要性など話がなされました。

このことについて各クラブでは既に取り組んでいるところもありますが、新会員が楽しく有意義なロータリーを実感してもらうにはどうしたら良いのか、各クラブで取り組んで下さいとのことです。

今後、三春クラブでも具体的なプログラムなど詰めてまいります。

◇川又暉之財団・米山委員長

去る8月19日のセミナーの報告です。

ポイントは2つ。

1. 年間寄付の地区目標は15,000円。
少なくともクラブ平均で13,000円は達成してほしい。
2. 米山月間(10月)に米山奨学生か米山記念奨学会の関係者の卓話を実施してほしい。



訂正報告

当クラブの昨年度の平均寄付額は12,903円です。

クラブ総額は335,500円、普通寄付額132,500円、特別寄付額203,000円です。過日の報告の7,807円は、特別寄付の平均でした。

県中分区の最高額は、本宮RCの17,564円(平均)です。

会員増強・拡大プログラム

◇担当：橋本国春会員委員長

1 地区「会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナー」復命(8.25開催)

(1) 地区の現状

- ・会員数 2014-15、39人増 2015-16、43人増 2016-17、13人減 2017-18、26人減
- ・地区会員年齢別分布
 - ① 39歳以下 3% ② 49歳以下 14% ③ 59歳以下 25% ④ 69歳以下 35% ⑤ 70歳以上 23%
 - 59歳以下 42% 60歳以上 58%
- ・女性会員 158人(6.6%)

○2018-19年度取り組み

- ① **現会員の退会を防ぐ** ② **若い会員の増強(活性化)** ③ **女性会員の増強(1%以上)**

(2) 基調講演 国際ロータリー第1ゾーン 酒井正人コーディネーター

○会員増強活動はクラブにとって最優先事項にする。(クラブ継続・活性化)

- ・会員全員で責任を負う。
- ・入会を勧めるにあたって→ **クラブの長所・特徴をリストアップ(ワンポイント)**
- ・活動状況を分かりやすく広報(奉仕活動等を発信)

- ・会員減少→ ロータリーに魅力がない。ロータリーでの働き場(活躍場)がない。等意見も有
- ・クラブ運営の柔軟性→ 会費、例会の時間帯の検討も。
- ・家族会員・法人会員による会員増を図っては。

2 三春クラブの現状

○会員

- ・2008-9年度 30人 2014-15 25人 2017-18 27人 2018-19 25人スタート
2008年度 30人、2009年度 33人で以降減少
- ・2009年度 33人 平均年齢 58歳
2018年度 25人 平均年齢 61.8歳 59歳以下 8人 32% 60歳以上 17人 68%
- ・女性会員 2人 8%

○今年度計画

- ・純増2人以上、うち1人以上女性とする。

3 具体的な対応

○8月20日理事会での意見

- ・昨年度から勧誘を進めている候補者と話を進める。新たな勧誘候補者も検討する。
- ・ロータリー活動の理解を得る行動を起こす。(活動パンフレット等の作成)
- ・会費等についても検討してみてもどうか。(クラブ細則第6条年会費 18万円)
- ・参考に、昨年度の意見別添です。
- *まずは、会員皆様のご意見を聞くことにしました。ご意見お願いします。

会員増強・拡大についてのご意見

- *三春クラブでも、毎年会員増強に努めていますが、会員増に結びついていないのが現状です。でも、このことは三春クラブに限ったことではなく、多くのクラブが抱えている課題でもあります。一人でも多くの会員増とするために、今三春クラブとしてできること。やってみるべき意見をお願いします。その後3班に分かれて意見交換を行った。

- *意見は順不同、内容も簡略に整理させて頂きましたので、ご了承願います。

1班 (大内富雄・石川和広・渡辺利春・橋本国春)

- ① 会員募集にあたっては、会費の見直しは必要ではないか。ロータリーは会費が高いとの話も聞く。
- ② 例会等事業の見直しを行い、労力・経費の軽減を図ることも必要である。
- ③ 会員勧誘候補者のリストを作成し、対象者がどの位いるか把握すべきである。クラブの長期的な検討も必要である。
- ④ ロータリークラブの活動状況が分かる啓発資料の作成
- ⑤ 家族会員・法人会員資格の創設


2班 (川又暉之・佐久間英一・山口進・橋本紀子)

- ① 若い会員は多忙で活動が難しいので、退職者を重点に勧誘を進めてはどうか。
- ② 一般的に、ロータリー活動は理解されていない。一昔前は、酒飲み集団と揶揄された。一般に理解されているのは、エコキャップ・中古楽器の回収では。
- ③ 先ずは、会員がロータリーをきちんと理解することが先決。木曜日はロータリーの日として、家族も一緒に楽しむ。家族の理解が第一である。
- ④ ロータリーは年間 30 万円位かける人もいる。会員になってのメリットを、経済効果も含めて分かりやすくする。
- ⑤ 会員との情報交換で、活かすことができるメリットがある。
- ⑥ 友好クラブとの交流で、視野の拡大に役立っているが、一般には知られていない。要は、理解を得る努力が足りない。

3班 (増子博保・三條安國・福原義守・影山吉則)

- ① 会員になると、異業種交流など自己研鑽ができるメリットがある。
- ② ロータリークラブは、世界的な組織で活動内容も幅広く魅力があることを、一般に分かりやすく周知すべきである。
- ③ 事業が多く、会費と労力が負担になっている。特に、若い世代は土・日曜日は行事も重なり出席が難しい。事業と会費の見直しは必要である。30代、家族会員の検討も。
- ④ ロータリー活動の楽しさ等を、DVDを活用し啓発することも必要である。

閉会点鐘

	国際ロータリー第2530地区				
	三春ロータリークラブ				
			TEL	FAX	E-mail
例会場	割烹文字屋	三春町字大町 18-1	62-5757	62-3174	hashimoto@8monjiya.jp
事務所	〒963-7759	三春町八島台 5-3-9	62-2334	62-2334	rcmiharu@gmail.com
会長	石川 和広	三春町字中町 1-1	62-2630	62-2222	dr-kazu@joy.ocn.ne.jp
幹事	白岩 良子	三春町字南町 55-3	62-6024	62-6034	yoshiko@fd-const.com
会報	渡邊 宏二	三春町字荒町 60	62-2410	62-2410	yamadai@orange.plala.or.jp